

# The TARO Singers

## PROGRAM

2010年7月11日(日)

たんば田園交響ホール  
13:00開場 14:00開演

### ♪ プログラム PROGRAM

#### 第一部 天上の友へ

##### 讃美歌312番 「いつくしみ深き」

この曲の作者のアイルランド人のジョセフ・スクラヴィンは、婚約者を二度事故と病気で失いますが、それでも、自分の人生の中に、神の愛を見いだしていた彼は、運命を呪うことなくキリストへの信仰を深めていきます。そのような信仰の中から生まれたのがこの詞です。「慈しみ深き、友なるイエスは、われらの弱さを知りて憐れむ」という歌詞が、イエス・キリストの愛の姿をわかりやすく、私たちに教えてくれます。何度も絶望の淵に立たされたスクラヴィンにとって、「友なるイエス」が心の深い慰めになりました。作曲家、チャールズ・コンヴァースがこの歌詞に感銘を受け、1865年に曲をつけてこの讃美歌が完成しました。

##### A.ブルックナー (1824~1896) 「アヴェ・マリア」

生涯を通じて非常に信心深いローマ・カトリック教徒であったオーストリアの作曲家アントン・ブルックナーの残した宗教曲のひとつ。

女声3部、男声5部の8部合唱曲として作られたこの曲は、数あるアヴェ・マリアの中で、最も美しいと言われています。恐らく妥協のないブルックナーの深い信仰心から生まれた音楽だからでしょう。それゆえか、演奏は難しく、演奏者によって全く違った曲になることもありますが、今日の演奏は、天上の友へ贈るにふさわしい、至高の音楽になることでしょう。

##### J.G.ラインベルガー (1839~1901) 「ミサ曲 変ホ長調」

ラインベルガーは、アルプスの小国リヒテンシュタインという篠山市より小さな国で生まれ、109年前に62歳でドイツで亡くなった作曲家です。オルガンやピアノ曲もありますが、宗教音楽が秀逸で数多くの名曲を残しています。「ミサ曲変ホ長調」は6曲で構成されていますが、全曲の演奏時間が20分程度程度の比較的短い曲です。しかしながら、とにかくにも本当に美しい曲で、伸びやかなメロディーに特徴があり、信仰心を呼び覚ますかのような美しいメロディーがたくさんちりばめられています。

#### 第二部 篠山、丹波の合唱愛好者とともに (合同ステージ)

夢で逢いましょう (永六輔作詞、中村八大作曲、猪間道明編曲)

遠くへ行きたい (永六輔作詞、中村八大作曲、猪間道明編曲)

上を向いて歩こう (永六輔作詞、中村八大作曲、猪間道明編曲)

「上を向いて歩こう」は「スキヤキ・ソング」として世界70カ国でリリースされたという世界中の誰もが知っているであろうという凄い歌です。簡単なメロディーであるにもかかわらず、豊かな表現力を持つメロディーが、世を超え、国境までも越えて人々に愛されるゆえんなので、心も温まります。しかも、今日歌われる楽譜を見て驚きました。減茶茶難しい！それでもそのはず、国際交流の場で日本の合唱団の実力をアピールするためにプロ用に編曲されたもの。そのレベルに果敢にチャレンジする地元有志たち。また、クローシンガーズにとって地元の人が歌うことが初めての経験という。歌う方も緊張、聴く方も緊張。今日、このホールに張り巡らされた無数の緊張の糸は、どんな素晴らしい音楽を響かせてくれるのでしょうか。

※プログラムは変更になる場合があります。

### 第三部 日本のうた

#### 日本の童謡唱歌より

「赤とんぼ」 (昭和2年) 三木露風 作詞・山田耕筰 作曲

「この道」 (昭和2年) 北原白秋 作詞・山田耕筰 作曲

「花の街」 (昭和22年) 江間 章子 作詞・團伊玖磨 作曲

「夏の思い出」 (昭和24年) 江間 章子 作詞・中田喜直 作曲

#### 武満 徹 (1930~1996) :混声合唱のための『うた』より

「さくら」「さようなら」「見えないこども」「小さな空」

現代音楽の分野において世界に誇れる日本の作曲家です。多くの作品のなかで、親しみやすいジャンルのひとつが「歌」です。なかでも混声合唱のための「うた」は、武満徹ならではの素朴で優しいメロディ、そして絶妙なハーモニーが心に響く珠玉の作品集です。歌ったことのある人ならわかると思いますが、演奏はかなり困難を極めます。しかし一度歌えばやみつきになるような魅力にあふれる曲ばかりなのです。どうぞ、いのち輝く武満徹の世界に心洗われて下さい。

#### ふるさと篠山へ帰ろう住もう応援ソング「おかえりなさい」

(石田裕之 作詞・作曲、前田恵美 編曲)

神戸市在住のシンガーソングライター石田裕之さんのおじいちゃん、篠山市岩崎という小さな村に住んでいます。裕之さんは、幼い頃、両親と篠山に里帰りしては、田畑の仕事の手伝い(じゃま?)をしたり、野山を駆けめぐったりして遊んで、その時に観た篠山の風景をイメージしながらこの曲をつくり、「ふるさと篠山へ帰ろう住もう応援ソング」として篠山市に楽曲提供されました。今回、日本音楽コンクール作曲部門で入賞された前田恵美さんによって合唱曲に編曲され、本日のお披露目となりました。

<p>胸の奥の少年が呼んでいる...</p>	<p>また帰ろうかな 丹波篠山 あたたかいあの笑顔に会えるから さつと誰もが「おかえりなさい」 あたたかく迎えてくれる気がする</p>	<p>胸の奥の少年が住まう町 歴史ある町 みのりの大地</p>	<p>お城の上から見れば あの時と同じ霧の町 もう帰ろうかな また住もうかな 守り守られて暮らす安らかな</p>	<p>あ あ よみがえる蟬時雨 川に泳いだあの日々 誰からか教わった 遊びの数々</p>	<p>ふいに懐かしいあだ名で呼ばれる...</p>	<p>あ あ 稲穂の海原が 一面に波打ち 彼方から夕霞 風にはの香る野焼き 思い出の中の光景が 今も目の前、広がる町 もう帰ろうかな また住もうかな あたたかいあの笑顔に会えるかな 暮れなすむ町 行き交う人に ふいに懐かしいあだ名で呼ばれる...</p>	<p>おかえりなさい 帰ろう住もう丹波篠山</p> <p>作詞 石田裕之 作曲 前田恵美</p>
------------------------	---	-------------------------------------	--	--	---------------------------	---	--

### PROFILE



指揮：里井宏次

大阪音楽大学大学院オペラ科修了。テノール歌手としてオペラ、リサイタル、コンサートに数多く出演。現在は合唱指揮者として活躍する。自ら主宰する「ザ・タロー・シンガーズ」では1999年大阪文化祭本賞・2008年文化庁芸術優秀賞など受賞歴多数。また、合唱講習会の講師やコンクールの審査員として合唱音楽の普及に務め、多くの合唱団でも指導、指揮を行っている。現在、大阪音楽大学教授、イタリア歌曲研究会、日本合唱指揮者協会会員。

#### <主要活動歴>

- 1995年 第1回定期演奏会 「3Bのモテット」
- 1999年 ヨーロッパ(アムステルダム、バルセロナ)で公演 ★大阪文化祭 本賞受賞
- 2000年 文化庁芸術祭参加(第2回東京定期演奏会 カザルスホール) C Dデビュー 「聖母マリアを替える歌」
- 2001年 C D 「ア・カペラによる20世紀の祈り」 レコード芸術、毎日新聞、朝日新聞、ハーマニー、で特選盤
- 2003年 C D 「イギリス合唱音楽の軌跡」 レコード芸術で準推薦盤 文化庁芸術祭参加(第10回定期演奏会 いざみホール)
- 2005年 文化庁芸術祭参加(第12回定期演奏会 カレッジオペラハウス)
- 2006年 NHK-BS2テレビ「クラシック倶楽部」放送 文化庁芸術祭参加(第13回定期演奏会 いざみホール) C D 「武満徹 Songs うた」 リリースレコード芸術準推薦盤、現代音楽、C Dジャーナル、読売新聞などで紹介
- 2008年 文化庁芸術優秀賞受賞(第15回定期演奏会 いざみホール)
- 2010年 シューベルト「冬の旅」無伴奏混声合唱版 世界初演



ア・カペラ室内混声合唱団「ザ・タロー・シンガーズ」ザ・タロー・シンガーズの名前の由来は面白い、ヒントは「里井」。1995年より室内混声合唱団として日本では数少ないプロの室内混声合唱団として高く評価されている。活動は、大阪を拠点に東京・神戸・京都で定期演奏会を催し、ヨーロッパでも大好評を得ている。作品の本質を見極めようと真正面から取り組む真摯な姿勢は、澄明な響きと緻密なアンサンブルをつくり、聴くものに心を魅了して止まない。

### PROFILE



石田裕之

1980年生まれ。神戸市立有野中学校、兵庫県立兵庫高校、神戸大学法学部卒業。2003年神戸ルミナリエ応援ソング「聖夜」で活動開始。みなとこくべ海上花火大会の海上音楽プロデュース。神戸市代表の海上音楽演奏に出演。第一環環境社会検定(通称エコ検定)に合格。劇中音楽担当。篠山市築城400年祭応援ソング「しあわせの日」作詞・作曲。ふるさと篠山へ帰ろう住もうテーマ曲「おかえりなさい」作詞・作曲。NPO法人いぬいふくし村テーマソング「ふわり」をはじめ、楽曲提供多数。

### PROFILE



前田恵美

神戸山手女子高等学校、音楽科ピアノ専攻卒業。2007年、大阪音楽大学作曲学科卒業。2007年、第76回日本音楽コンクール第3位入賞。入賞作品がNHK-FM、NHK BS-hi、NHK教育TVなどで放送、紹介される。2008年、第30回日本交響楽振興財団奨励賞受賞。受賞作品が、秋山和慶指揮東京フィルハーモニー管弦楽団により初演される。同年、ザ・シンフォニーホールで行われた第51回大阪音楽大学定期演奏会にて同大学委嘱作品が小田野宏之氏指揮のもと初演される。

### MEMBERS

※五十音順

- |  |  |   |  |  |
|--|--|---|--|--|
| <p>ザ・タロー・シンガーズ</p> <p>■指揮 / 里井宏次</p> <p>■ソプラノ / 秋田 美和子<br/>北川 かわおり<br/>長田 麻衣子</p> <p>■アルト / 椿本 美加<br/>西野 敦子<br/>廣澤 敦子</p> <p>■テナー / 岡本 弘信<br/>梶原 道人<br/>橋上 純二</p> <p>■ベース / 笠原 直也<br/>二階堂 哲雄<br/>前原 充彦</p> | <p>第二部合同ソング出演者</p> <p>■ソプラノ / 飯田 美和子<br/>大倉 泰子<br/>竹ノ内 邦子<br/>本莊 賀寿美<br/>牟禮 矢弓</p> <p>■アルト / 稲継 江津子<br/>片岡 正子<br/>西尾 範子<br/>前内 祥子<br/>吉満 エリ子</p> <p>■テナー / 大江 春也<br/>原 真樹</p> <p>■ベース / 稲川 千秋<br/>西尾 昭</p> | <p>井階 知代<br/>吉杉 いそ子<br/>谷田 恭子<br/>宮崎 幸子<br/>八代 恵子</p> <p>岡田 智重子<br/>河南 翔子<br/>渡部 香代子<br/>前川 吉子</p> <p>北 邦彦<br/>八木 啓</p> <p>大崎 孝夫<br/>丸山 眞</p> | <p>井谷 清美<br/>小谷 有紀<br/>谷田 千恵子<br/>森下 美子<br/>吉住 直子</p> <p>小野田 雅美<br/>笹倉 泉<br/>樋口 ミチル<br/>前田 恵美子</p> <p>久下 未男</p> <p>古杉 俊昭<br/>山田 良一</p> | <p>上田 亮子<br/>小森 久美子<br/>花本 悠<br/>森本 文恵</p> <p>栗山 喜美代<br/>長沢 明子<br/>平野 春江<br/>山本 由美子</p> <p>松尾 俊和</p> <p>田畑 勉</p> |
|--|--|---|--|--|